

松山市の中心市街地活性化について

松山市の中心市街地は、住まいと職場、各種生活サービス施設が近接化した“現代版コンパクトシティ”ともいえる城下町として発展し、これまで変わらぬ都市構造を維持してきました。しかし、近年その機能が失われつつあり、今後の人口減少と高齢化の進行等の社会情勢の変化に対応していくことが求められています。

市では平成20年に1期目、平成26年に2期目の「松山市中心市街地活性化基本計画」、平成28年に「松山市中心地区市街地総合再生計画」を策定し、商業機能の強化や観光振興など、これらに連携する施策を中心に活性化に取り組んできました。さらに中心市街地の活性化を推進するため、令和2年10月に3期目となる新たな「松山市中心市街地活性化基本計画」を策定しました。

○「松山市中心市街地活性化基本計画」（計画期間：令和2年11月～令和8年3月）

中心市街地活性化の基本的方針と目標

全体テーマ

豊職か・な住生・活が近接で実現されたまち

基本方針

方針1
出かけたくなるまち

方針2
愛着と誇りを持てるまち

方針3
便利で豊かなまち

目標

①来街者の回遊性向上による賑わい創出
現状、エリアによって賑わい具合に差があることから、新たな賑わいスポットや滞留空間の整備などを展開し、回遊性の向上を目指します。

②観光コンテンツの充実による満足度の向上
観光機能の強化はもちろん、急増する外国人観光客に対応することで、観光客の満足度の向上を目指します。

③高質で豊かな居住環境の形成によるコンパクトシティの推進
定住人口を維持、増加させるため、再開発事業等を行うことで、居住環境を形成し、コンパクトシティの推進を図ります。

実施事業箇所図

